



ご 挨拶

大会推進委員長 松 本 千 恵 子

千曲川の清流と菅平高原から美ヶ原高原までひろがる豊かな自然や先人の築いた歴史と文化を大切にすまち上田市。烏帽子、蓼科をはじめとした雄大な山並み、豊かな風土と長い歴史に育まれた美しいまち東御市。(平成16年小県郡東部町と北佐久郡北御牧村の2町村が合併して東御市)

ここ上田市・東御市におきまして、第40回長野県視覚・放送教育研究大会を開催できますことは、この上ない喜びであります。

昭和22年、教育基本法並びに学校教育法の公布をうけて学制が定められ、新しい教育の基本方針が示されました。その教育基本法が59年ぶりに全面改定され、平成18年12月に「新しい教育基本法」が公布されました。それを受けて教育基本法等の関連三法の改正が進められて平成20年に施行されるという教育の歴史の転換期に上田東御大会を開催させていただきますことは、たいへん意義深いものがあるように思います。

本大会は、昨年度の塩尻大会から引き続いて、大会主題「広い視野をもち、新しい文化を築く心豊かな人間の育成を目指して～教育メディアの効果的活用を通して～」を引き継ぎ、「一人一人の子どもに生きる力を育むことをめざして、自ら考える力と心豊かな人間性を育成するために、教育メディアの効果的な活用のあり方を実証する」を研究目標に据えて研究と実践を進めてきました。

昨今、私たちのまわりは、多種多様で豊富な情報で満ち溢れています。とりわけ、携帯電話などの驚異的な普及は生活様式までも変え、インターネットを通した世界的な規模での情報ネットワークの広がり、一瞬にして、世界中が同じ情報を享受するといっても過言でない状況です。

そのような情報化社会の波は、学校教育にも新たな学習のあり方を投げかけ、様々な視聴覚機器の開発が子どもたちの個別な学習をより可能にし、教育メディアの効果的な活用が子ども達の自ら考える力を育む基になっています。

上田東御大会は、13の各会場校において日々取り組んでいる学習を、視聴覚機器や教育メディアの活用という視点から見返すことで、授業改善へ結び付けたいと考えています。子どもの学びの姿から、日常的な教材研究における視聴覚機器の活用のあり方を一層深めてまいりたいと思います。

また、各会場の学校案内、学習指導案等を上田東御大会ホームページからご覧いただけるよう準備しています。本大会では、会場校が上田市と東御市の両市にまたがったの発表となります。行政の広域化が進められていますが、まだ、情報の一括管理等において課題もあります。そんな中、2市13校のホームページを一括管理できるように努力しているところであります。こんな点からも情報の広域化に貢献できたらと考えています。参会の皆様に一層充実した大会になりますようにご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、本大会開催に当たり、多大なご指導を賜りました長野県教育委員会をはじめ長野県市町村教育委員会連絡協議会、上田市・東御市当局及び教育委員会、その他各教育関係諸団体の先生方に心から感謝申し上げます。さらに、公開授業及び研究協議の会場をご提供くださいました各会場の先生方、指導者、司会者、提案、記録の先生方、会場を準備してくださった事務局、各役員の先生方に厚く御礼申し上げ、挨拶といたします。